

～ 信じる者となる秘訣 ～

「信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」ヨハネ 20 の 27

◆本日の聖書箇所 ヨハネ 20:19～29

20:19 その日、すなわち週の初めの日の夕方のであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。」

20:20 こう言ってイエスは、その手とわき腹を彼らに示された。弟子たちは、主を見て喜んだ。20:21 イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」20:22 そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。20:23 あなたがたがだれかの罪を赦すなら、その人の罪は赦され、あなたがたがだれかの罪をそのまま残すなら、それはそのまま残ります。」

20:24 十二弟子のひとりで、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたときに、彼らといっしょにいなかった。20:25 それで、ほかの弟子たちが彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません」と言った。

20:26 八日後に、弟子たちはまた室内におり、トマスも彼らといっしょにいた。戸が閉じられていたが、イエスが来て、彼らの中に立って「平安があなたがたにあるように」と言われた。20:27 それからトマスに言われた。「あなたの指をここにつけて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」20:28 トマスは答えてイエスに言った。「私の主。私の神。」20:29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」

◆はじめに

神の恵みを受け取る秘訣は「信じる」事であると聖書は教える。(ヨハネ 20:31 他)

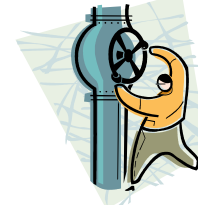
信仰は神からの恵みを受けとる“管”のようなものである。神の恵みは誰にでも等しく備えられている。後は私達が信じる事を通して神の恵みを受入れるだけである。

しかし、主イエスの事を、その約束を信じる事が大切だと分かっている時にも、信じられない時もある。

様々な神の恵みを体験した後でも、厳しい試練の中にある時は、特にそうである。そういう時は、他の人の証しを聞いたとしても、素直に受入れる事が難しい。

トマスはまさにそういう状況であった。しかし、今日の出来事を通してトマスはより深く主イエスを信じる者へと変えられていった。

トマスの姿を通して、私達も信じる者となる秘訣を学ぼう。



◆参考 神の恵みと信じる事の関係

・ヨハネ11の40

「もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る、とわたしは言ったではありませんか。」

・マルコ11の23

「まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海に入れ』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりにになると信じるなら、そのとおりになります。」

・他/マルコ 16:16～18、ローマ 1:16、エペソ 1:19 等

◆参考 トマスについての伝承

伝承によると、その後、トマスは遠くインドまで「主イエスが復活された救い主である」と伝えるようになったと言われている。

◆本日の説教のポイント

①信じる者となる為に、私達も一緒に「_____」事を大切にしよう

理由はよく分からないが、トマスは主イエスが復活された日曜日の夕方、他の弟子達と一緒にいなかった。その為、復活された主イエスと出会う事ができなかった。しかし、次の日曜日に他の弟子達と一緒にいる時に、もう一度主イエスは現れて下さった。その結果、トマスも信じる事ができた。この出来事以降、主イエスを信じる者は日曜日に集まって礼拝するようになった。

聖書には、主イエス様を信じて、共に集まって祈り、賛美し、御言葉を聞き、交わる中に主イエスは特別に一緒にいて下さる約束されている。(マタイ 18:20)だからこそ、多くの場合、共に集まって礼拝する中で、主イエスへの信仰が深められ、主イエスが生きておられる事を実体験する。

試練や、疑いの心が消えない時には、なおさら共に集まる事を大切にしよう。主イエスは私達にも信じれるように必ずして下さい。

信じる者となる為に、私達は一緒に集まる事を大切にしよう。



◆聖書の約束 マタイ 18 の 20

ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。

メモ

②信じる者となる為に、私達も「_____」続けよう。

「見たら信じる」トマスだけでなく多くの人達が言うセリフである。しかし、本当にそうであろうか。

主イエスは数多くの病人を癒される奇跡を行われた。しかし、その奇跡を見ながらも主イエスを信じず、それどころか激しく反対するようになった人達がいた。(マルコ 3:1~6 等)その理由は信じようとしなかったからである。

トマスは霊的な事柄を悟るのがにぶいものであった。(参:ヨハネ 11:16)

しかし、トマスは主イエスを信じたい、従いたいという“求める心”をもっていた。だからこそ、トマスは主イエスの弟子に1人になっていた。また、主イエスが復活された次の日曜日には他の弟子達と一緒にいた。そのような求める心を持つトマスに主イエスは特別に現れて下さった。

「もっと信じられるようになりたい」と祈り、聖書を学び、共に集まって礼拝する中で“確かに主イエスは生きておられる”と私達にもはっきりと分かるようにして下さい。

信じる者となる為に私達は求め続けよう。



◆聖書の約束 マタイ7の7

求め(続け)なさい。そうすれば与えられます。

捜し(続け)なさい。そうすれば見つかります。

たたき(続け)なさい。そうすれば開かれます。

・メモ
